

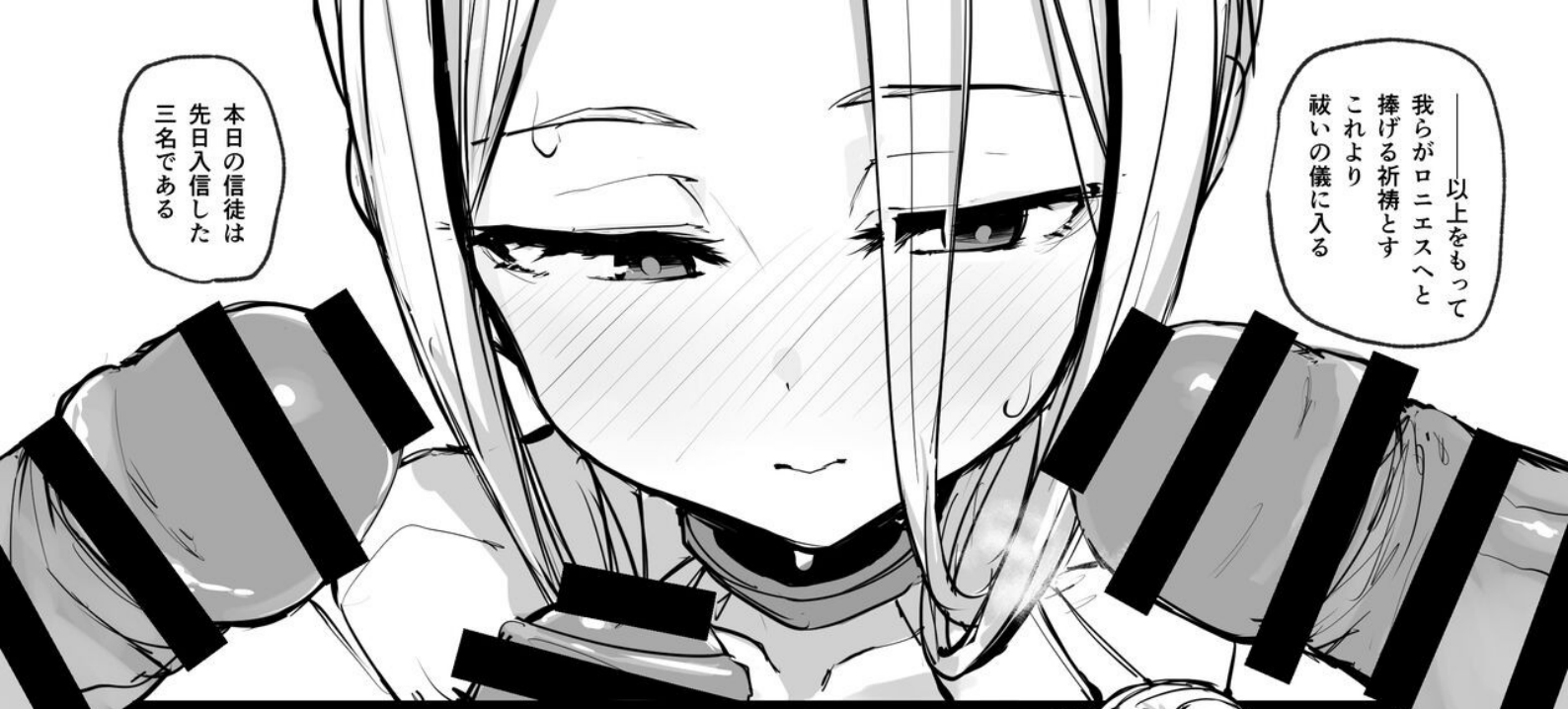


HEARTLESS

for adult only

——以上をもって
我らがロニエスへと
捧げる祈禱とす
これより
祓いの儀に入る

本日の信徒は
先日入信した
三名である



ソニア
この者たちの穢れを
祓ってあげなさい

は…はい…
お師様…



失礼いたします…



6月4日
今日から日記を書きます。



孤児院の人が
書いてほしいって。



新しいおうちに
引き取られました。
フェルネ教？っていうのは
よくわからないけど
優しいおじいさんでよかったです。



でもお師さまが優しく
教えてくれるから
がんばれます。

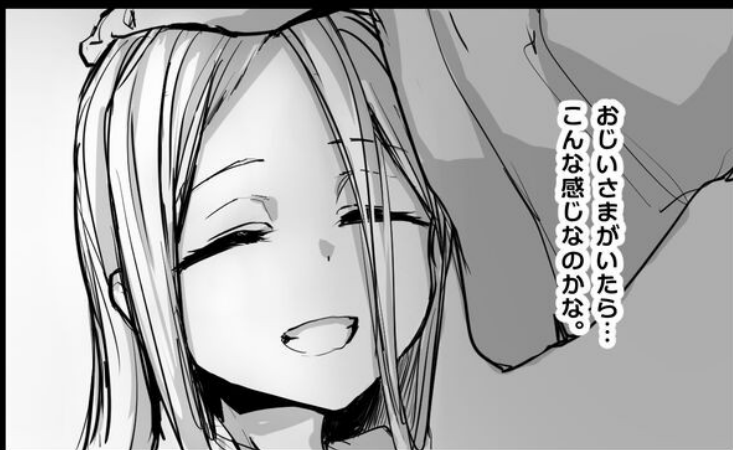


6月10日
お師さまはたくさん
のことを教えてくれます。
学問のこと。食事のマナー。芸術。言葉づかい。

フェルネ教の教えは
私には難しく
よくわかりません。
もっと勉強しなきゃ。



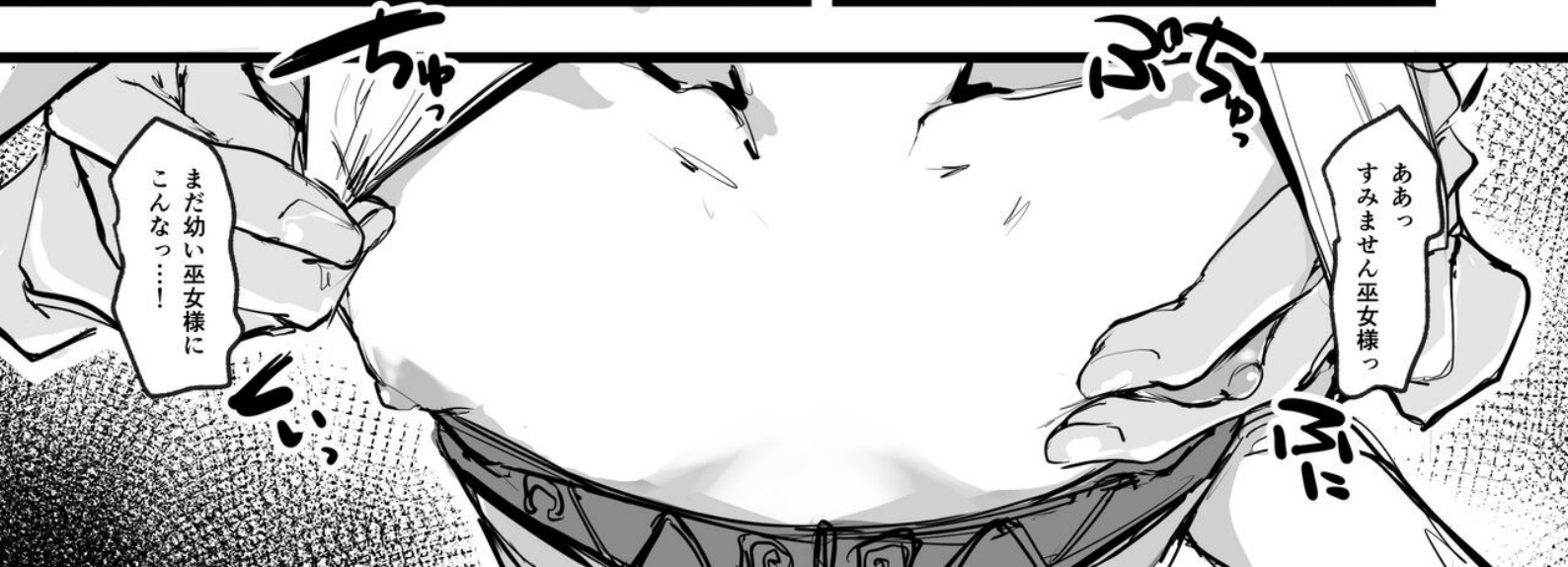
おじいさまがいたら…
こんな感じなのかな。



ソニア

君には穢れを祓う
特別な力があるんだよ







どうぞお気の済むまで…
ッ…!?



んっ…
構いません



大丈夫ですよ

こうすれば
ちゃんと
被えますから…

み…巫女様!



おっお前!お前が
巫女様に話しかけるから!

すッ
すみません!



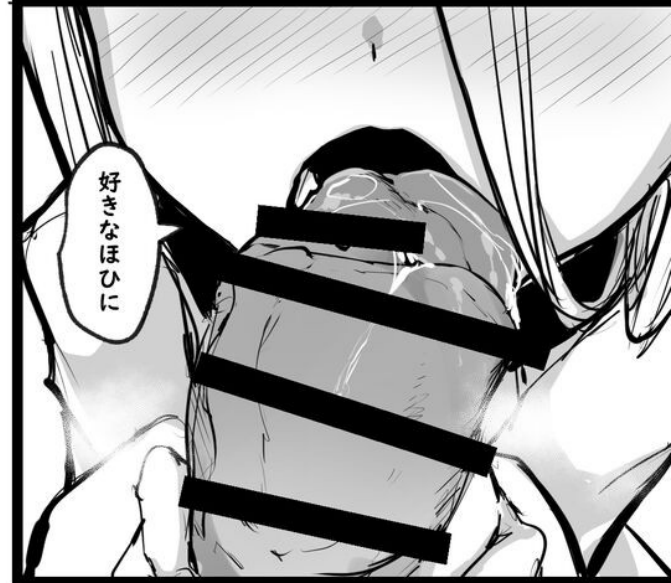
もし新たに穢れを
吐き出したくなっても
我慢をさらずに



それでは舌で穢れの塊を
落としていきます



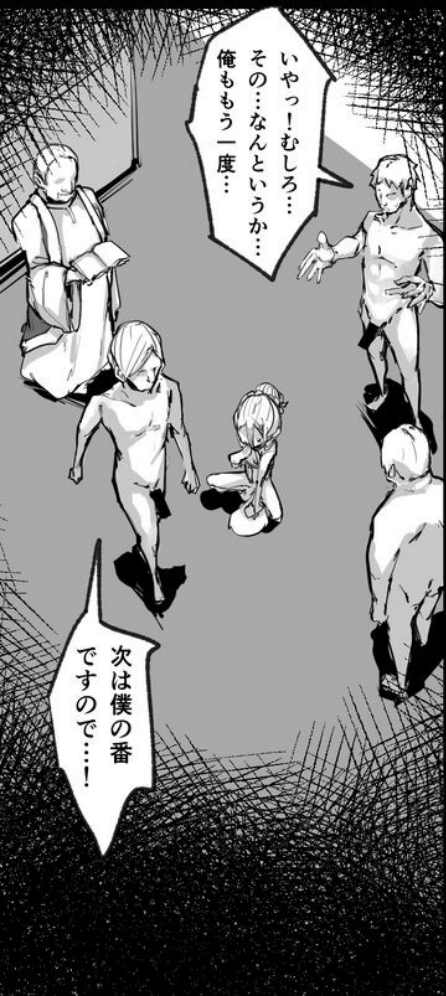
れんふ……っ
受け止めまふ
ふっ……んっ……



好きなほひに



吐ひらひへくらはい



いやっ！むしろ…
その…なんというか…
俺ももう一度…

次は僕の番
ですの…！



あ…ありがとう
ございました…！

申し訳ございません…っ
お見苦しいところを…



失礼します

お、お願いします！
僕：頑張りますから！

？
はい……
？



うっ……！
舌で舐りながらっ
どんどん飲まれて……ッ

んま

んや



あはは



僕のモノが全部
巫女様の口の中につ

舌がうねっ...!
クッ... ああっ
で、射精ます!

じゃあ?

じゃあ?

じゃあ?



あ...あはは...
あつという間でしたね...
いつもこうなんです...



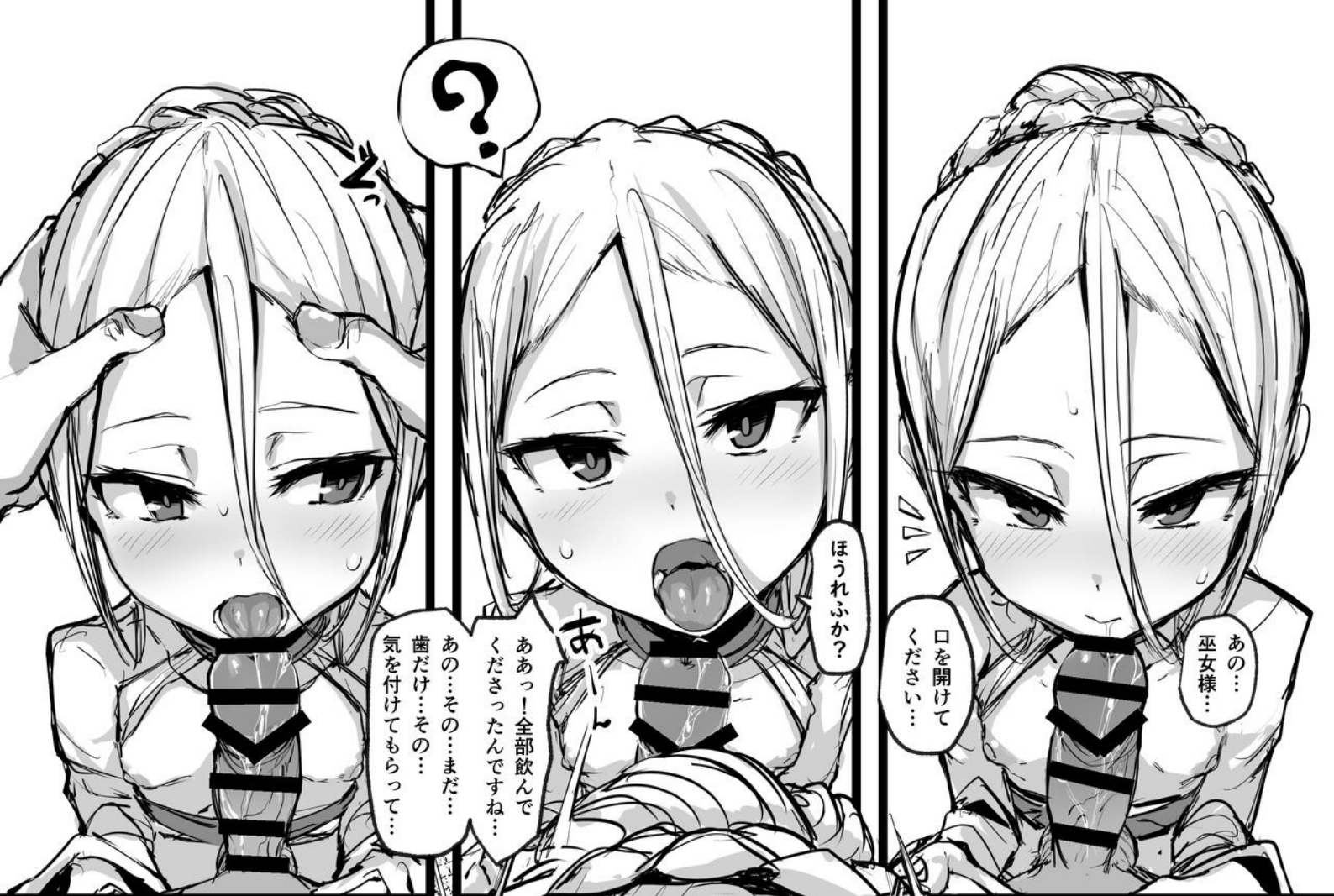
飲んでッ...!
全部飲んでくださいッ!

あはは

あはは

あはは

あはは



?

ほうれふか?

口を開けて
ください…

あの…
巫女様…

あ…その…まだ…
歯だけ…その…
気を付けてもらって…

あつ！全部飲んで
くださったんですね…



おはっ

ごめんなさいっ！





あの…巫女様…
再び穢れが…

俺も…
お願いします!

と、取り乱してしまい
申し訳ございません…
改めてお願いします…



まずは挨拶の練習から。
口でふれると穢れが
出ていきやすくなるそうです。



6月12日
検査でいるんなところを触った後
穢れを祓うための修行が始まりました。

もう十二月か
どうりで
寒いわけだ
暖めておくれ

はい...お師さま

ははは

ははは



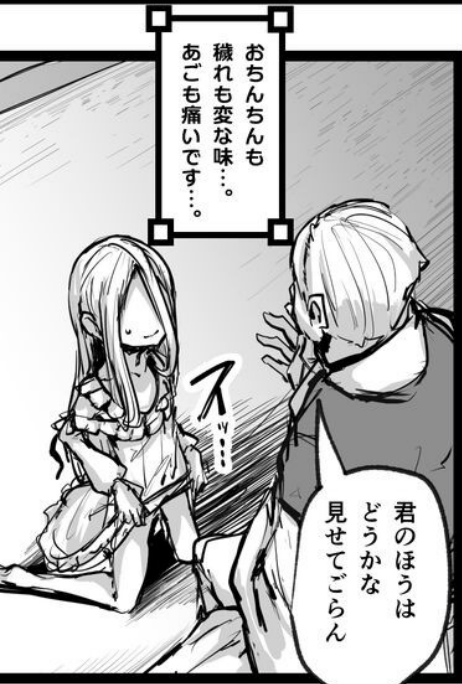
7月17日
今日も口で穢れを
祓う修行です。

は、はい……!



おちんちんの
変なおいは穢れが
大きいほど強くなるみたい。

まずは挨拶から
教えたとおりに
できるね



おちんちんも
穢れも変な味…。
あごも痛いです…。

君のほうは
どうかな
見せてごらん



もうすっかり
慣れたものだ
良い子だね



もう少し念入りに濡らしておこう
気持ちいいだろう



8月9日

ふむ少し濡れている...
身体が穢れに敏感になっ
てきているね

でも穢れが出ていくときのお
師さまはとてほおおきまじい...
ちよっと嬉しいかも。



ここまで
挿入るからね

夜からはお師さまと私だけで行っ
「折りの修行の説明を受けました。
でも...



よし
おいで



ほんとにお師さまのおちんちん...私の中に入るのかな...

素晴らしい修行の成果だね

しかしここからだ

これから毎日お師さまがお薬をあそことお尻に塗り込んでくれます。

オチンチン

ガッ

ガッ

ギョッ

ガッ

ギョッ

ガッ

ガッ

おちんちん...



明日も二人の信徒の方の
穢れを祓います。
これからがんばらなくちゃ。

すぐッ果てて
しまいそうだった



こりゃあ
いかんッ



8月12日

受け止めて
おくれッ



このまじら
何だか少し寂しい…
変な気持ちです…
ホームシック?って
いうみたいです。

さあ
綺麗に
しておくれ

シーチエ…
ママ…
みんなも
元気かな…?

自分から
腰を振って…
指を離して
くれないねえ

私は新しいおうちで
お師さまと
仲良く暮らしてるよ…。





今でも少し記憶が曖昧です。
でもいつまでも
くよくよしては
いられません。

んっ…



今度は自分で
挿入れてごらん

はい…



みち

12月3日
今日の信徒の方は
少し乱暴な方でした…。
きつと穢れの影響だと思えます…。



夜からは初めての
祈りの修行です。

みち…

みち…

みち…

みち…



始めはすごく痛いし
全然入らなくて
泣きそうでした。

じきに慣れる
そうですが…
ほんとかな…?

挿入り…っ
ました…♡

いい子だ



なんとか無事に
終えることが
できました。

次も…
わかるね?

ここまでたくさん
祝福をいただいた
おかげです。

6月4日
今日でお師さまに
引き取っていただいて
1年が経ちました。

自分のペースで
いいんだよ

びびり

びびり

びびり

この頃はおちんちんを
嗅いだだけで
頭がぼーっとして
おまんこも濡れてきます。

心身共に巫女としての
自覚ができてきたんだと
思います。

そう
その調子

動…きます…っ

びびり

おおっ
おおお!
なんと
力強い腰使いっ

今日も祈りの修行中
何度もイッて
しまいました…。

お師さまのおちんちんは
とても遅く
繋がると私のお腹ごしに
どこまで入っているか
わかるくらいです。

細かに震えて…っ
腰を打ち付ける度
達しているのだね

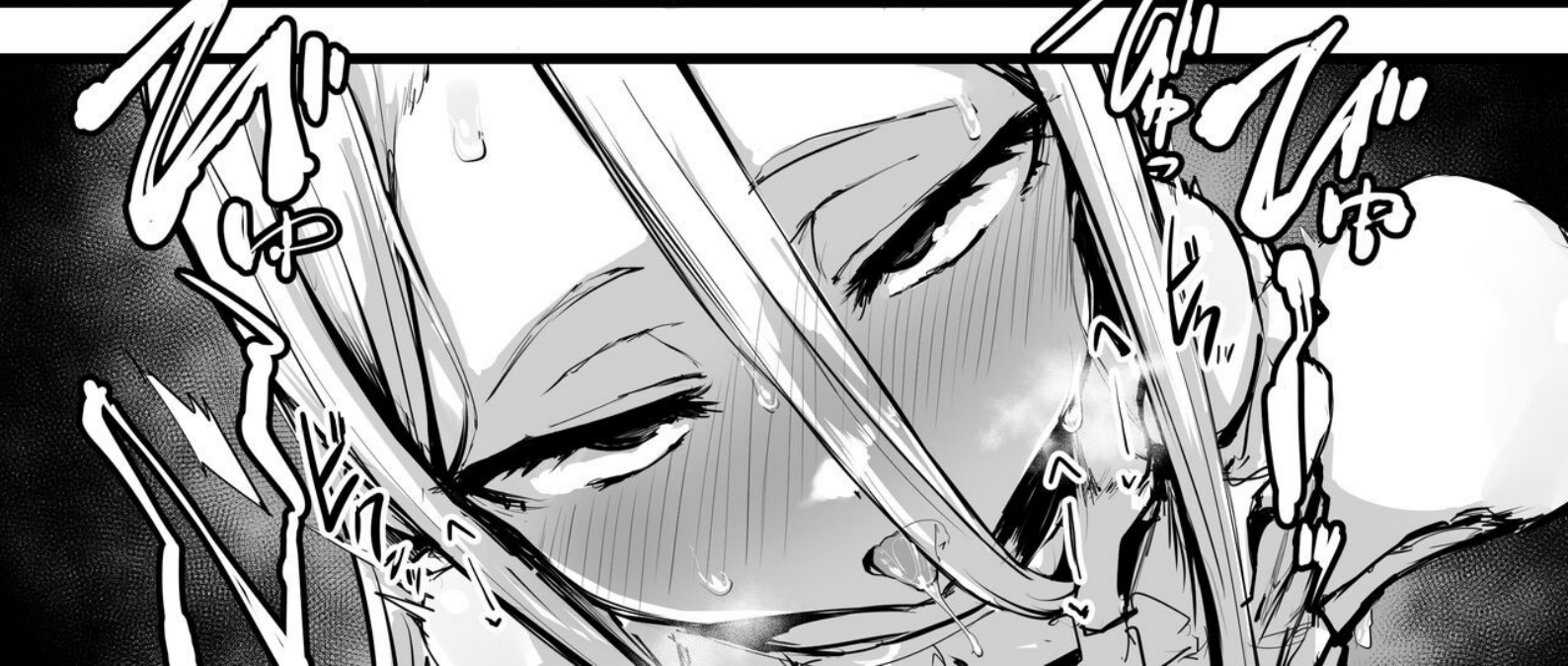
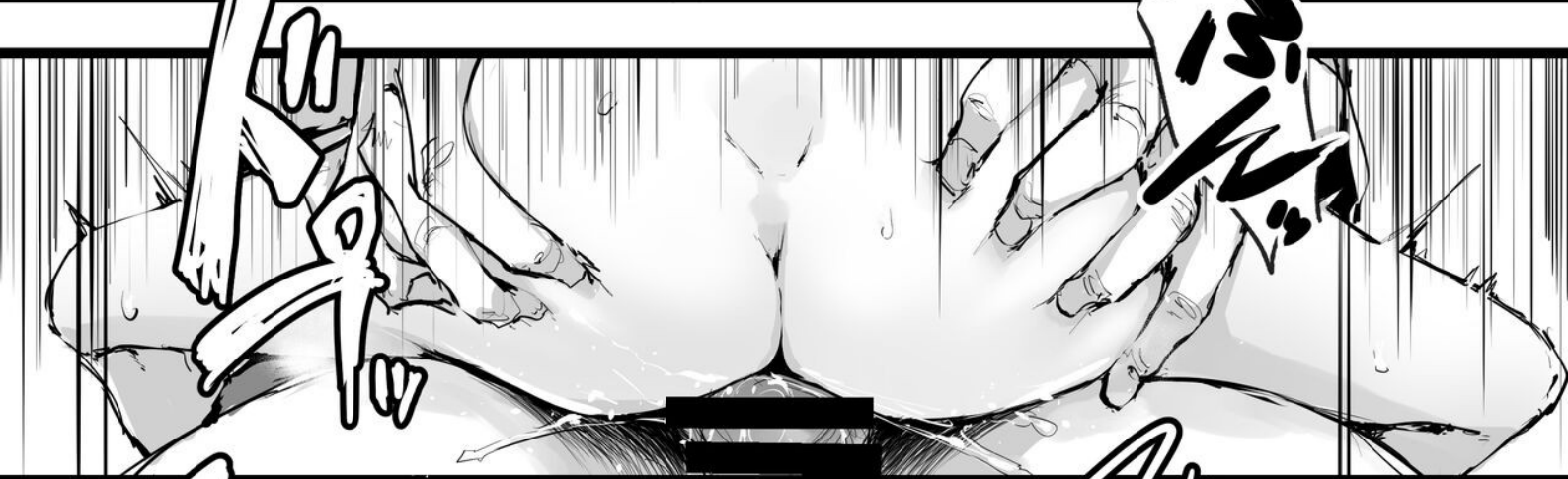
実に
いじらしく
愛らしいっ

くっ



膣壁が
吸い付いて
しごき上げて
きよるっ

射精すっ
射精すぞおっ



今日は今までずっと
準備していたお尻で
お師さまの
お相手をしました。

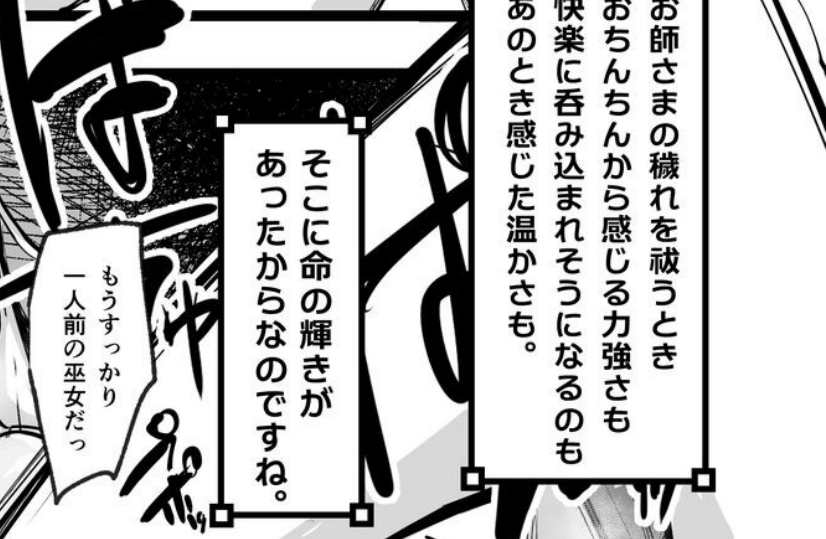
準備は
してあるね？

外側から
気持ちいい場所を
擦られるような
焦らすような
刺激があります…。

はい…っ
キレイに
してあります

お尻でするのも
好きになって
しまいました…。

それじゃあ
挿入れてくから



本来人と穢れは
切っても切り離せぬ
ものというところを。

不浄の穴までッ
こんなにも
こなれてっ

お師さまの穢れを祓うとき
おちんちんから感じる力強さも
快楽に呑み込まれそうになるのも
あのとき感じた温かさも。

そこに命の輝きが
あつたからなのですな。

もうすっかり
一人前の巫女だっ

大好きなお師さまとの
子を授かるなんて…。

しっかり
受け止めるんだよっ

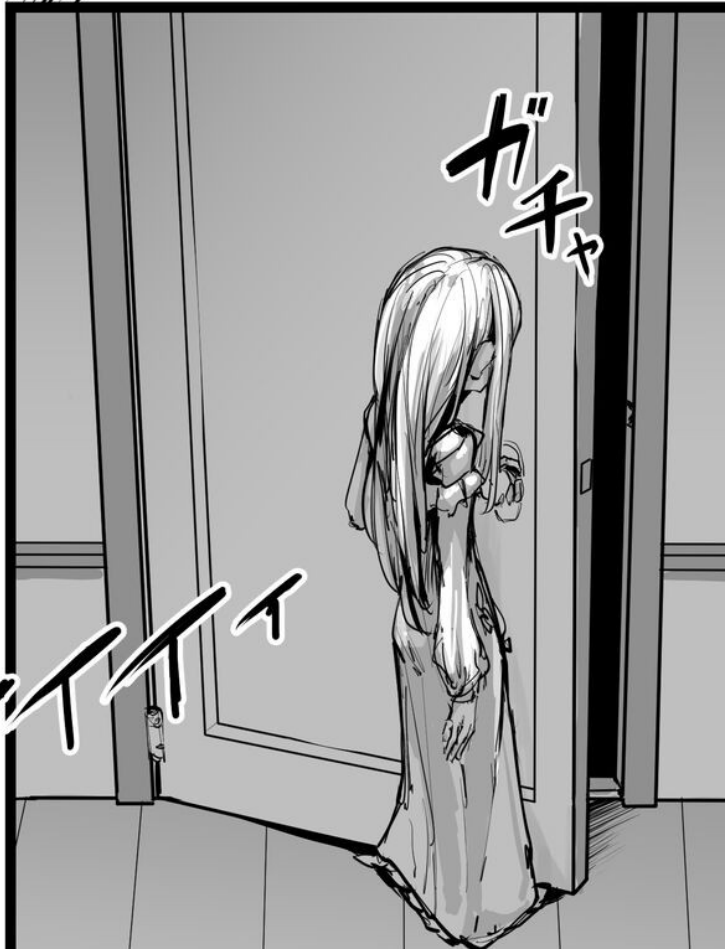
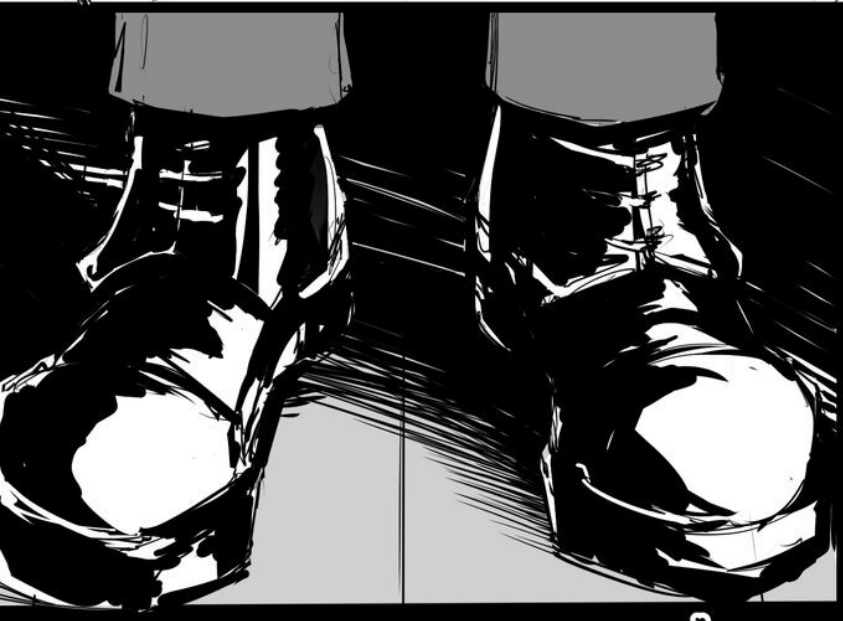
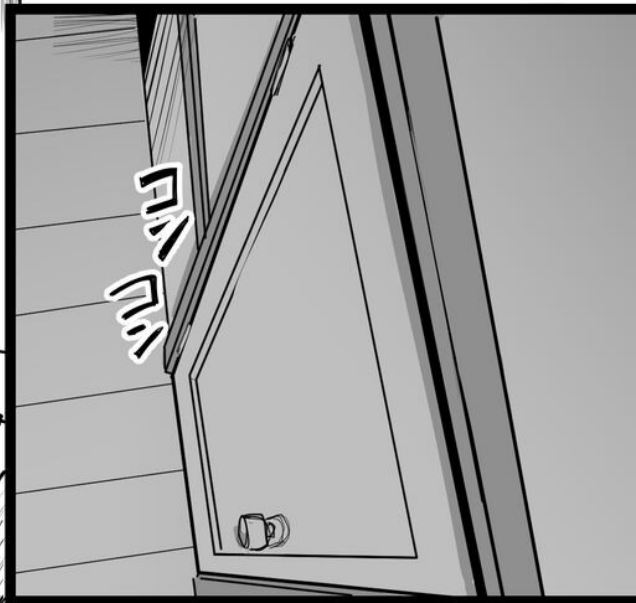
おっ
おっ
おっ

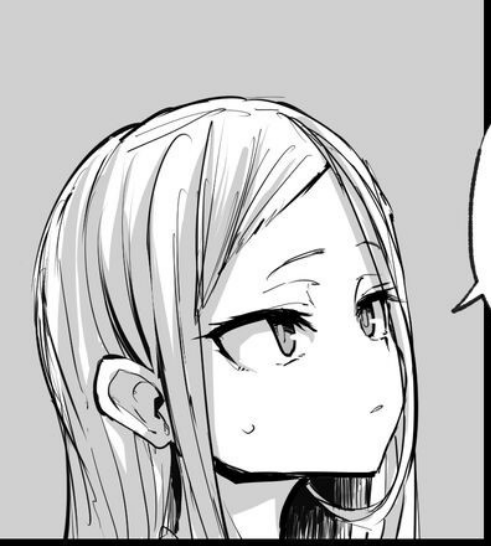
おっ
おっ
おっ





12月4日:





孤児院の…?



いえお構いなく
用があるのは
あなたですので

どうやっ…あの…
お師さまを呼んで
さま…でしょうか?



どうも



あ…
というかもう
こんな格好



…?

一年半…
時期尚早…ですが
優先事項の準備が
整いましたので



日記は…
ちやんとつけている
みたいですね
結構



する必要
無いですねー

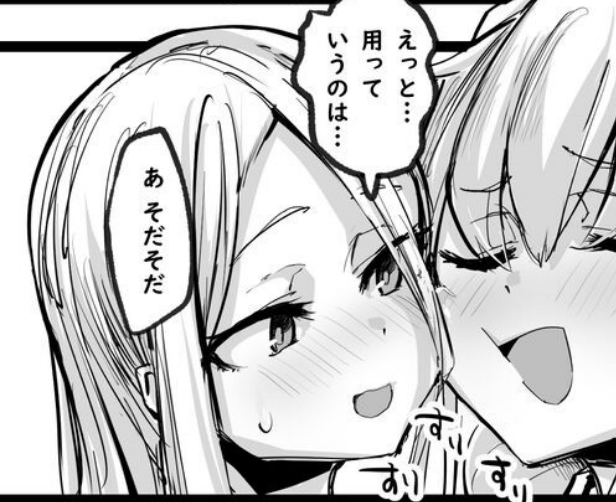


んー？
そう見えた
だけですよ



え？あの…
男の人じゃ…？

あーん！
元気してましたー？



えっと…
用って
いうのは…

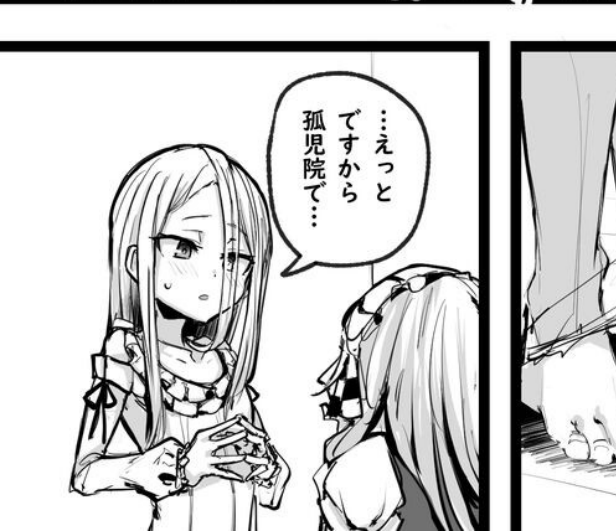
あそだそだ



この時期はすぐ
背え伸びますねー



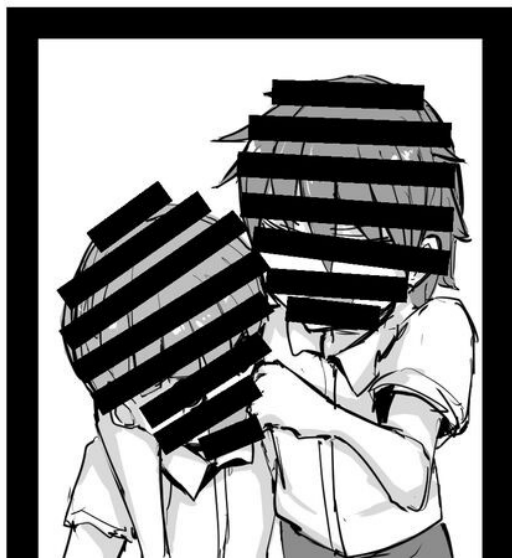
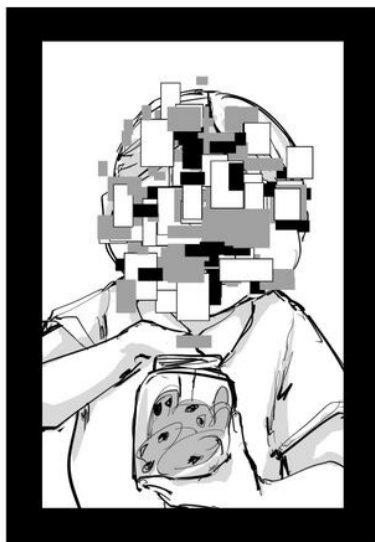
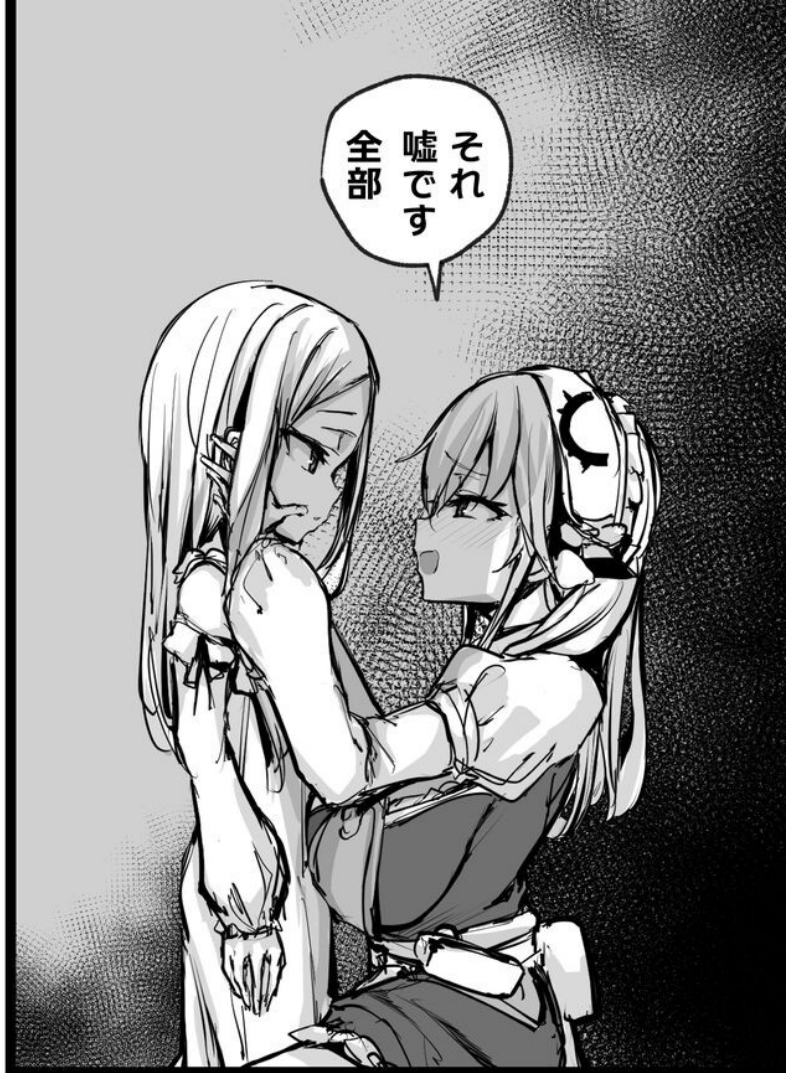
ブッフ
びゃって！

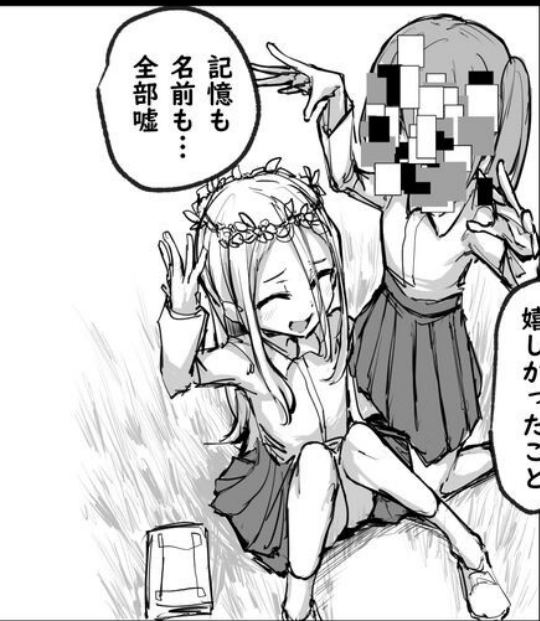
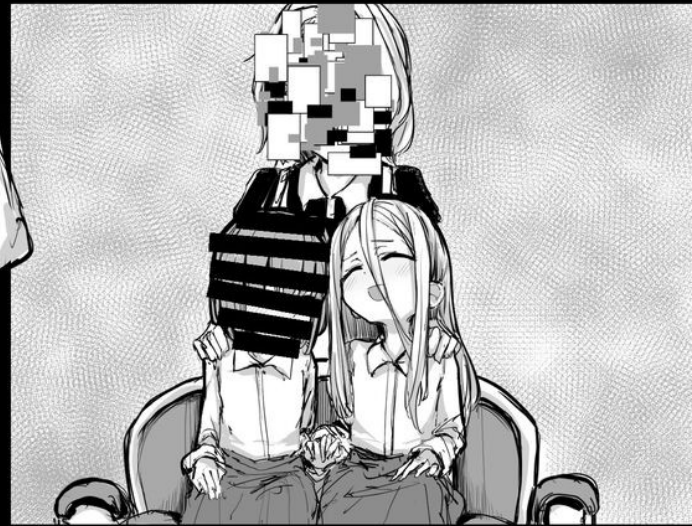
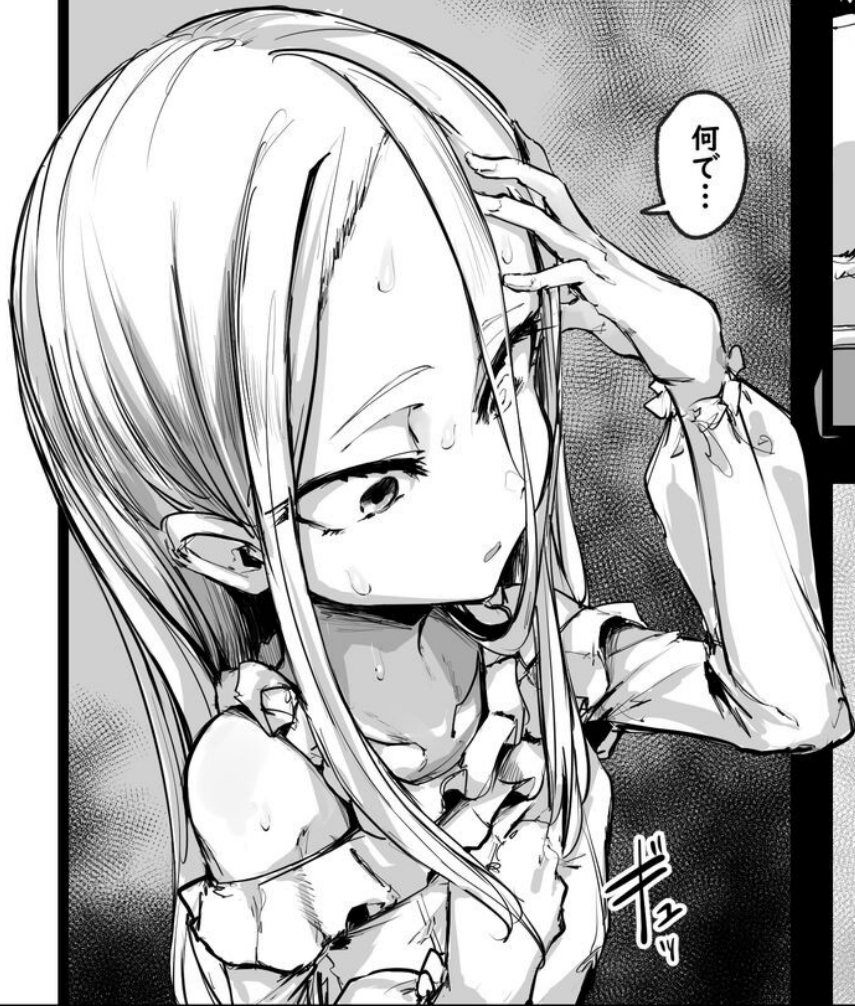


…えっと
ですから
孤児院で…



よいしょっと
ここに来る
前のこと
憶えてますか？





そういう人が居た
そういうことが起きた

ただ「あった」という認識があるだけ

わたし... 私...

私は
誰なんですか…？

あなたは可能性

まっさらなあなたが
ここで何を望まれ
何を得て
どんな色に染まるのか

あなた自身が
知りましたがって
いるんです

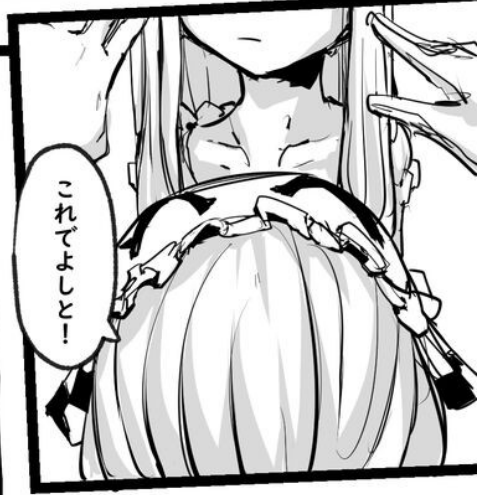
…目を閉じて？



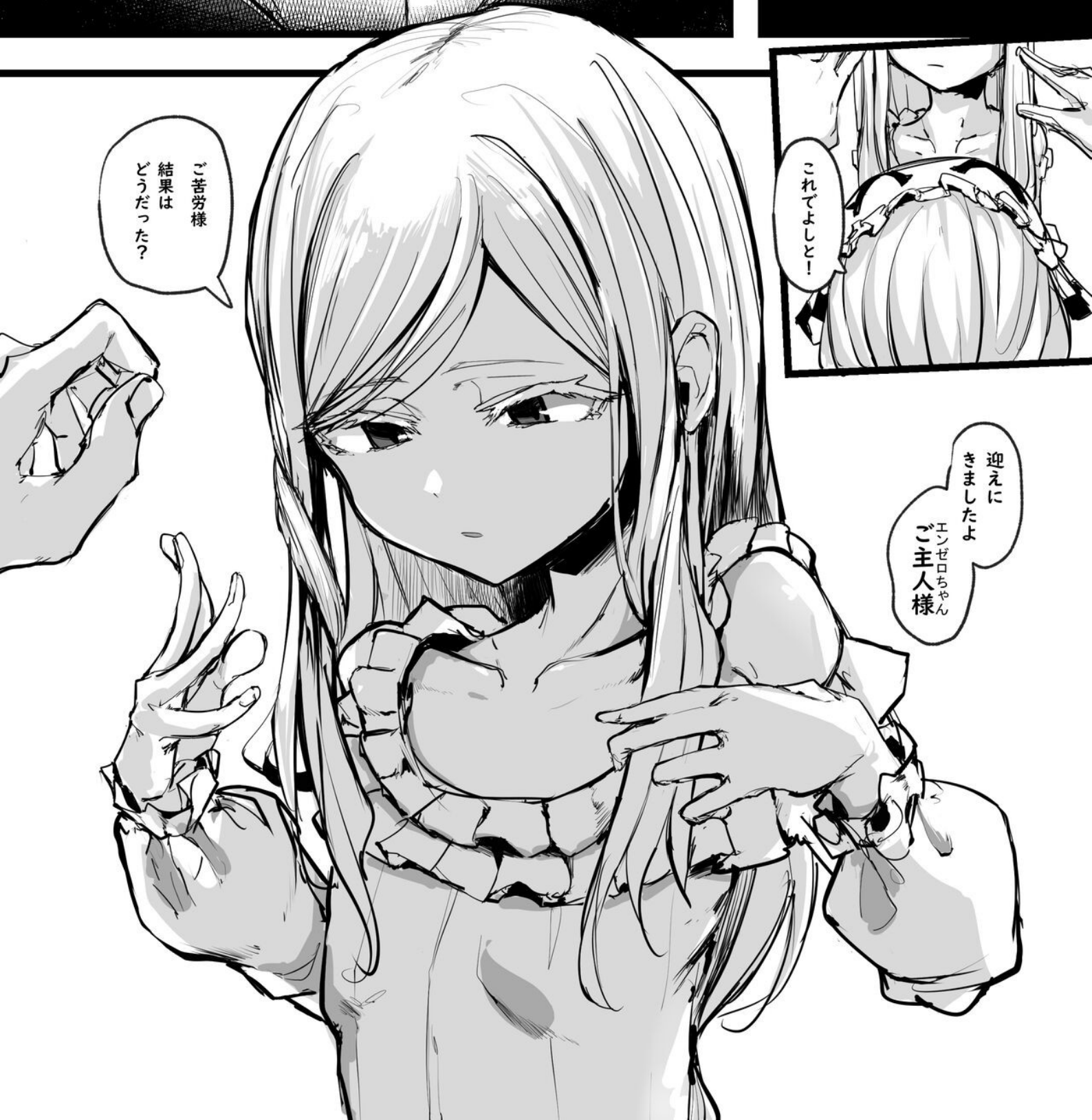
えーと
髪はこんなんでー

あ
目ももう隠さなくて
いいですね

とっちやおー



これでよしと！



迎えに
きましたよ
エンゼロちゃん
ご主人様

ご苦労様
結果は
どうだった？



伝えときまーす
て、どうでした？

不憫だわ…
まずは…御四季
からかな

あとは面白そうなのが
世界中ちらほら
まあー全部ベル君が
調べたんですけど！

ん？何…ああ
ただの欲まみれの
畜生だったよ
…どうせ見てたでしょ



さっきまでの
可愛げはどこへ…

せつかくそれっぽい
雰囲気作ったのに
淡々としてますねえ

あるわよ
目の前に



えっと次の
候補地はですなー

御四季、アツシユカバード
このあたりは史実どおり
ほぼアレが関わってます



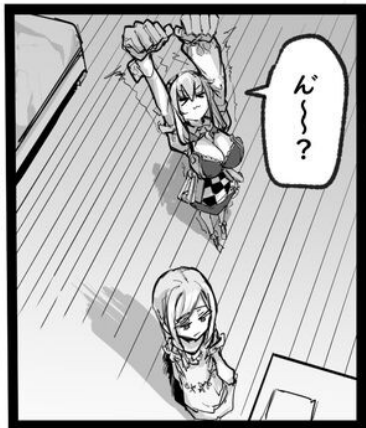
一年半前に

…戻ろうか



本音と建前

8..2



ん…？

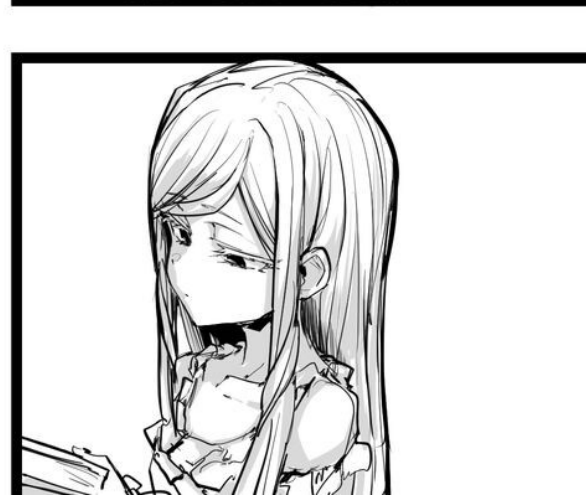
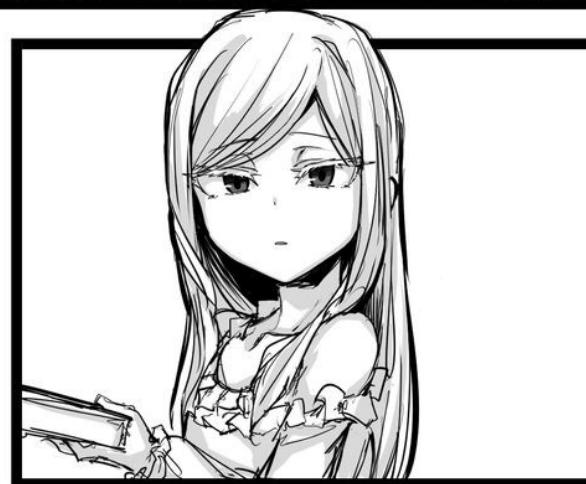
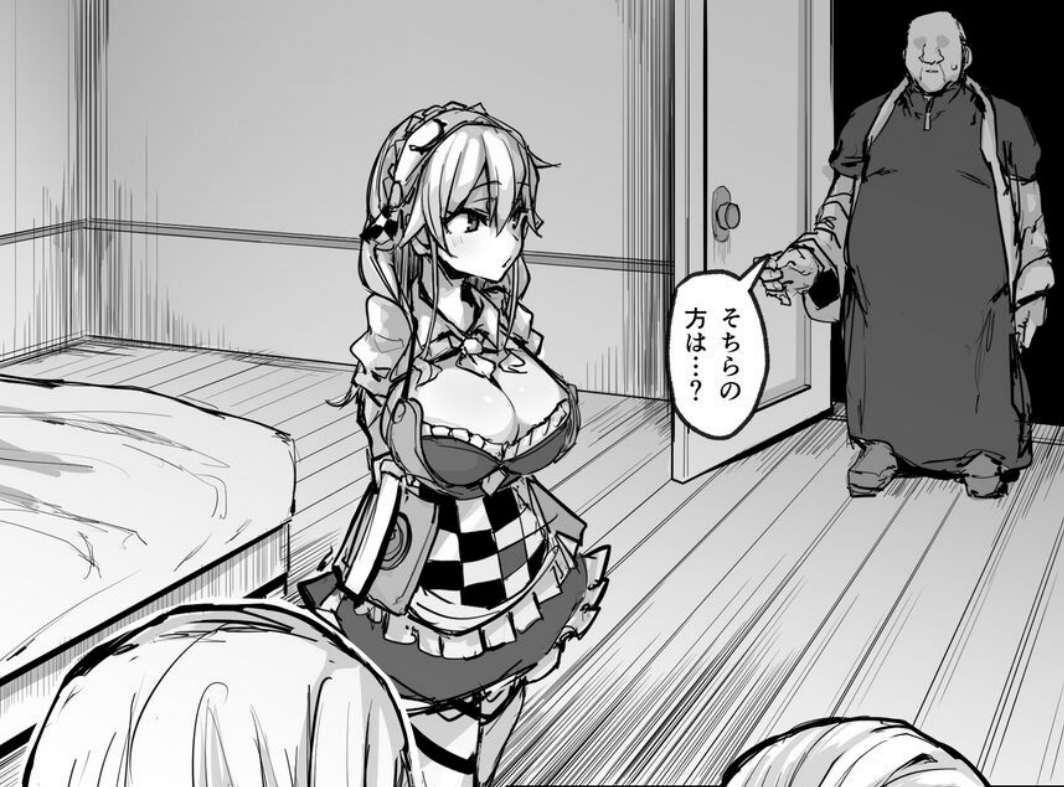


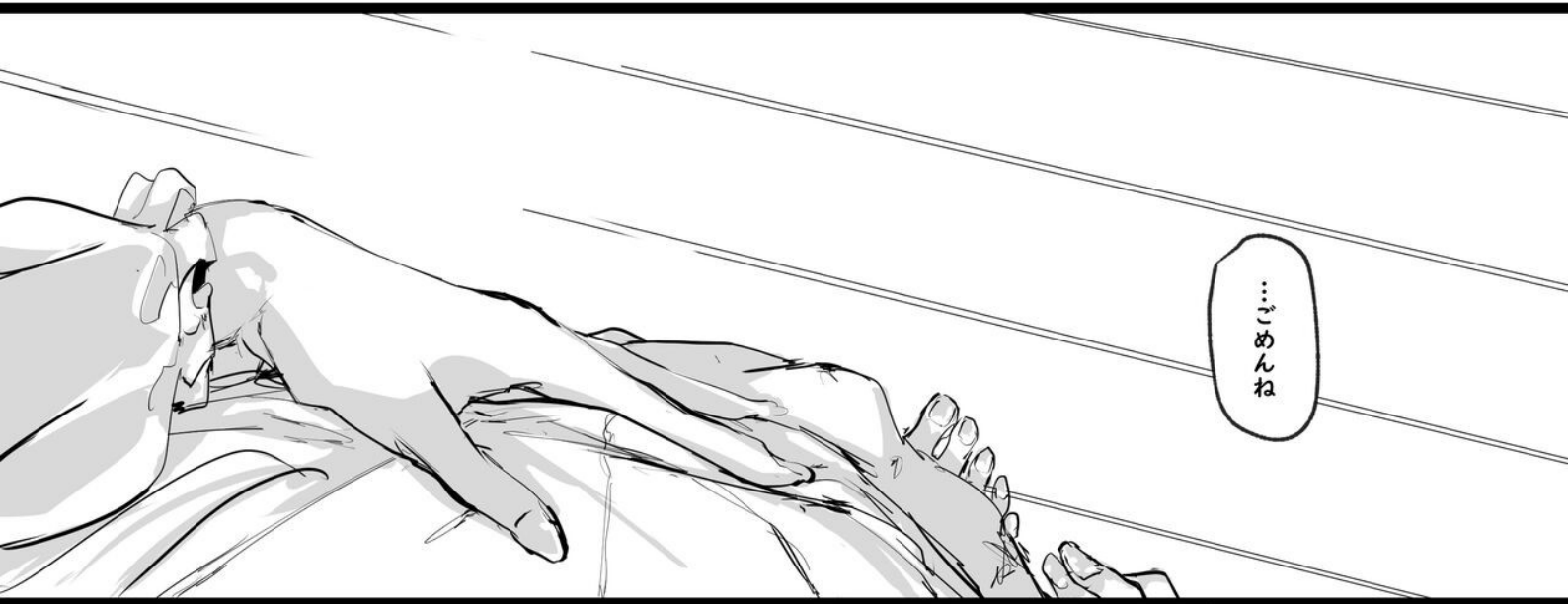
まだ完全には
私と私との間で
折り合いついて
ないから…

そういう
もんみたい
いつもそう

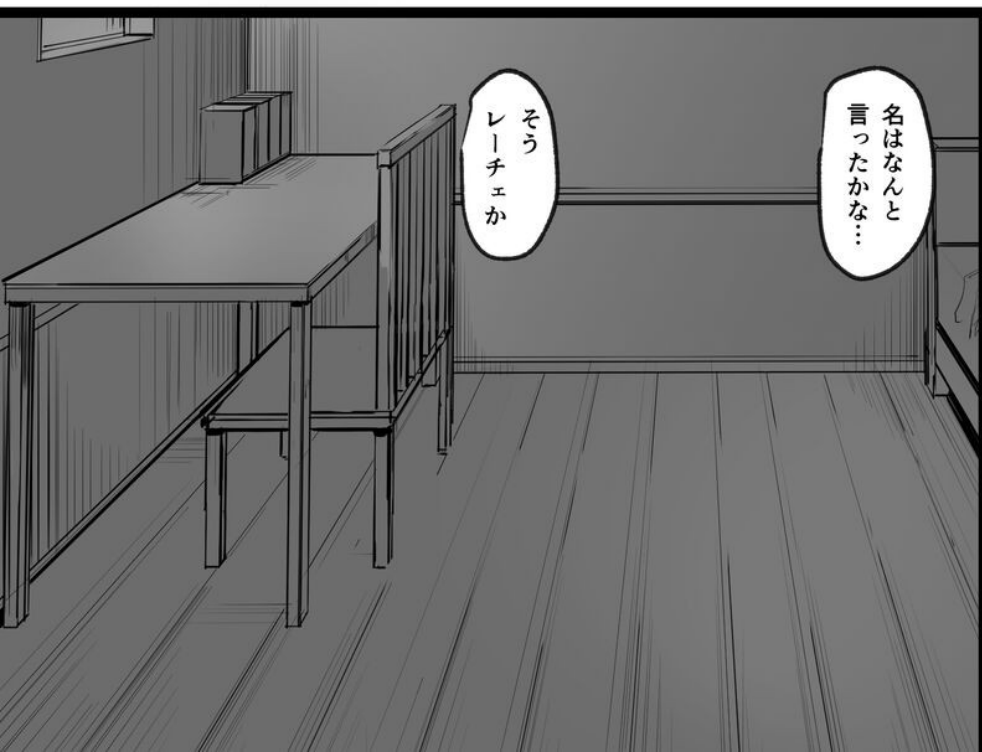
そういう
もんですか

たった一年半でも
無地の私には
あいつが世界の
全てだったのよ





…ごめんね

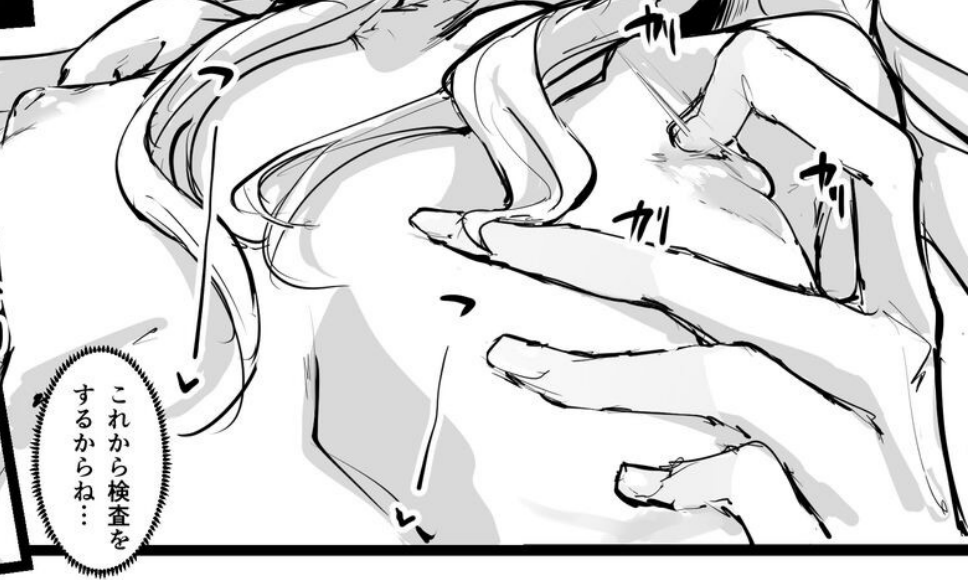
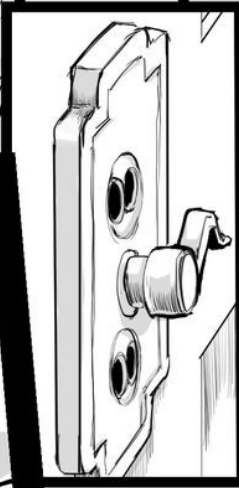


そう
レーチェカ

名はなんと
言ったかな…



いよいよ
明日か…



これから検査をするからね...





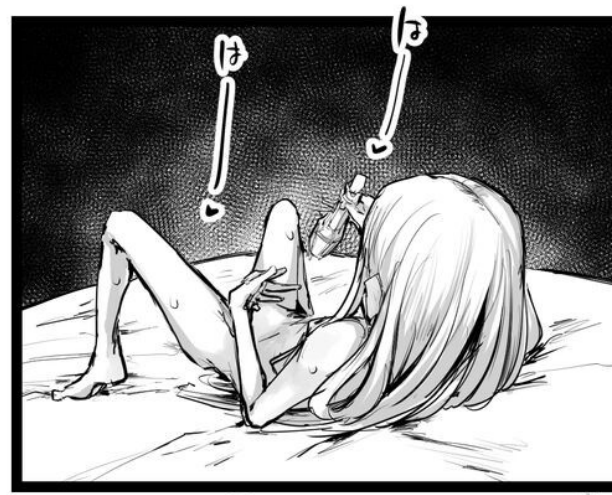
どうか私の...

私たちの
穢れを...!



巫女様...

巫女様...





おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう

私だけの...!

おめでとう

ソニア!

ソニア...!

おめでとう

おめでとう

おめでとう

おめでとう
ソニア

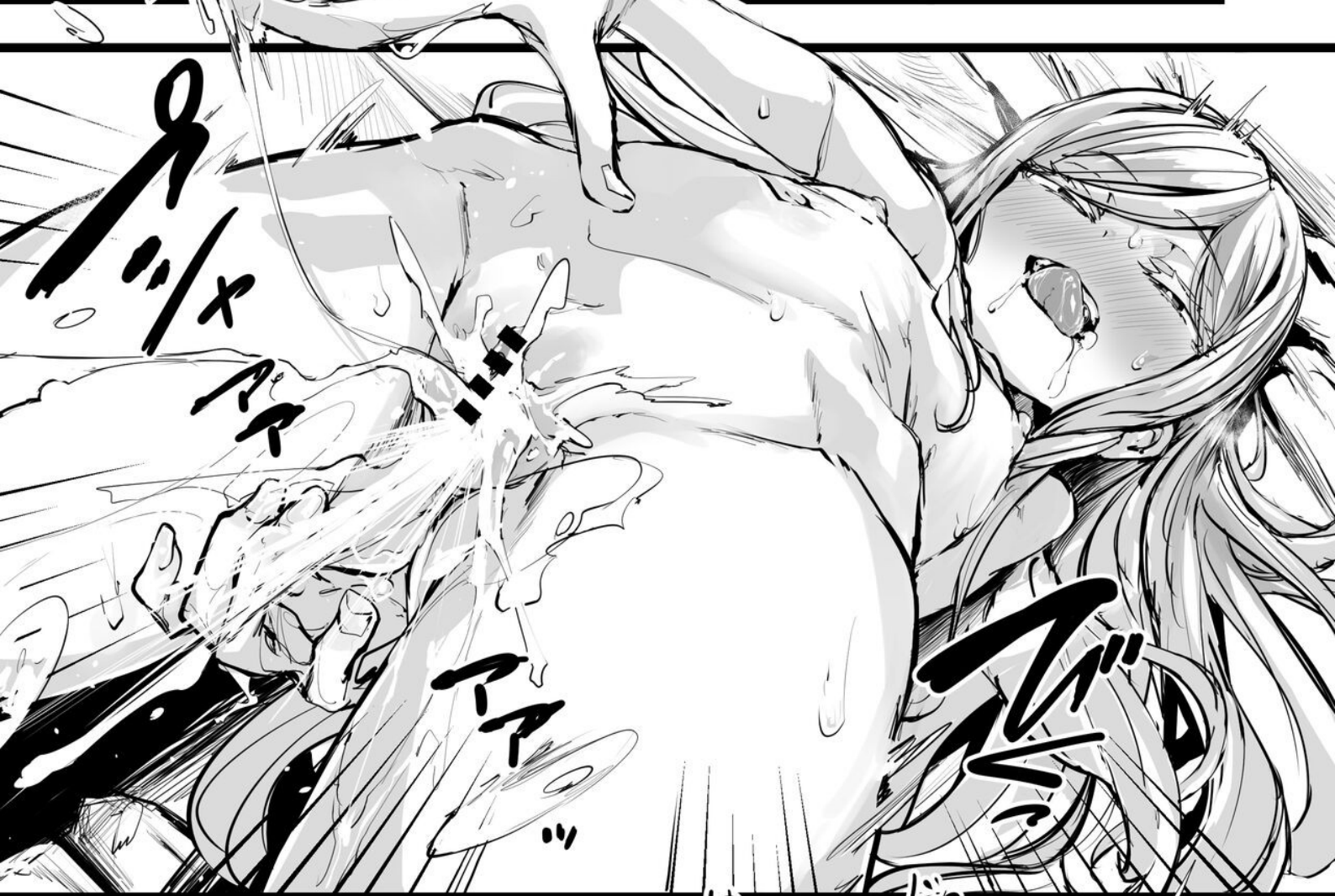
君は私の子を
孕んだんだよ

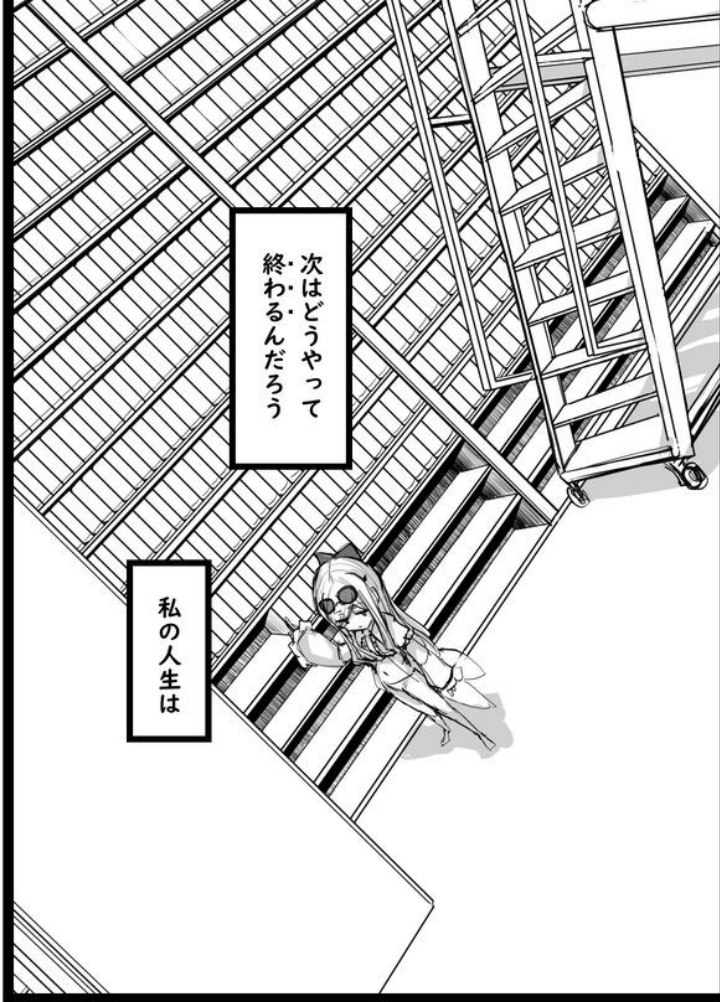
おめでとう

おめでとう

おめでとう

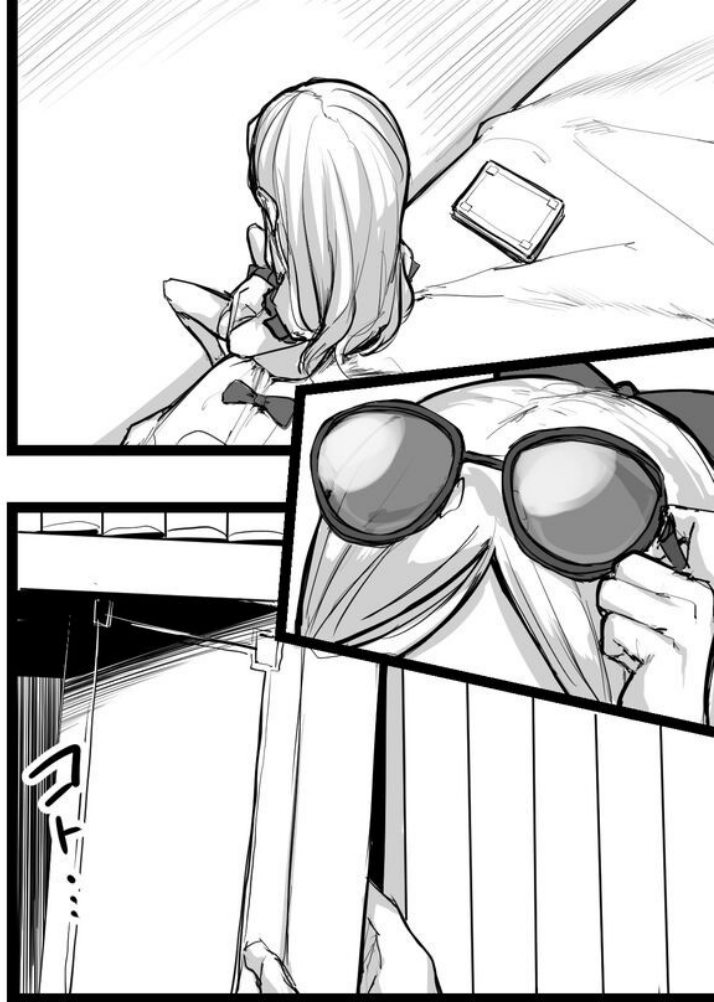
おめでとう



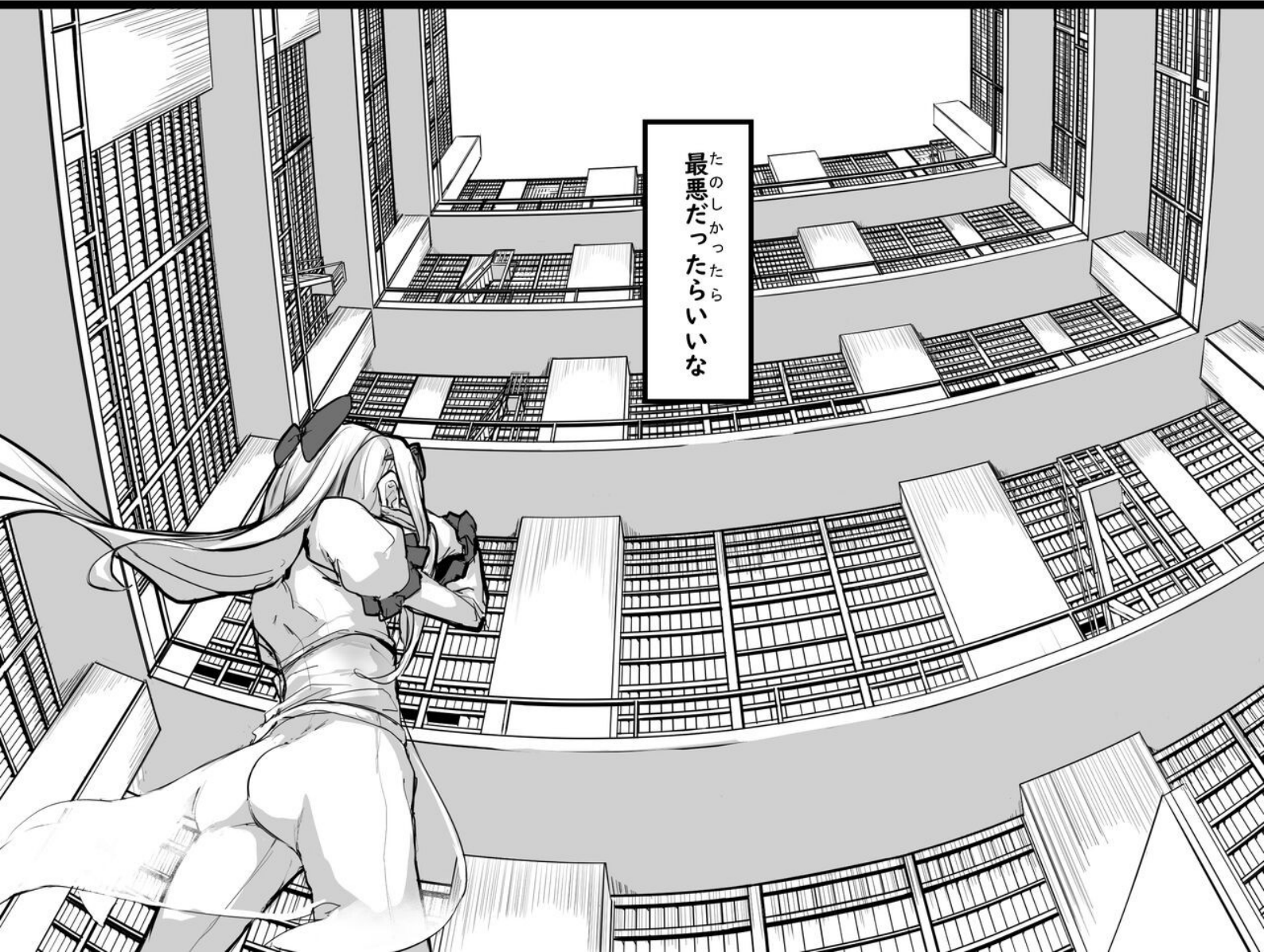


次はどうやって
終わるんだろう


私の人生は



アト...



たのしかったら
最悪だったらいいな



◆お手にとっていただきありがとうございます！

◆この物語はフィクションです。

実在する人物、団体、宗教とは関係ありません。

◆本書の転載、アップロード、複製を禁じます。

善意であっても本書を翻訳したものを不特定多数が
閲覧可能な場所にアップロードしてはいけません。

奥付

サークル：K2マンホール

発行人：P